

北のエントランス（仮称）日進東口論議土地区画整理事業

◆事業概要

当地区は、日進市都市マスタープラン（H23.3策定）において北のエントランス（玄関口）拠点として位置づけられており、東部丘陵線（リニモ）長久手古戦場駅・芸大通駅および名古屋瀬戸道路長久手インターチェンジに近接するといった地理的優位性や豊かな自然環境を活かした、多様な都市機能が立地する拠点の形成を図る地区と位置づけられています。

このような拠点地区の形成を図るにあたり、地権者により構成される「北のエントランスまちづくり世話人会」と協働し、土地区画整理事業認可に向けて検討を行っています。

◆今年度の取り組み

今年度業務としては大きく「計画協議」と「区画整理設計」を行います。

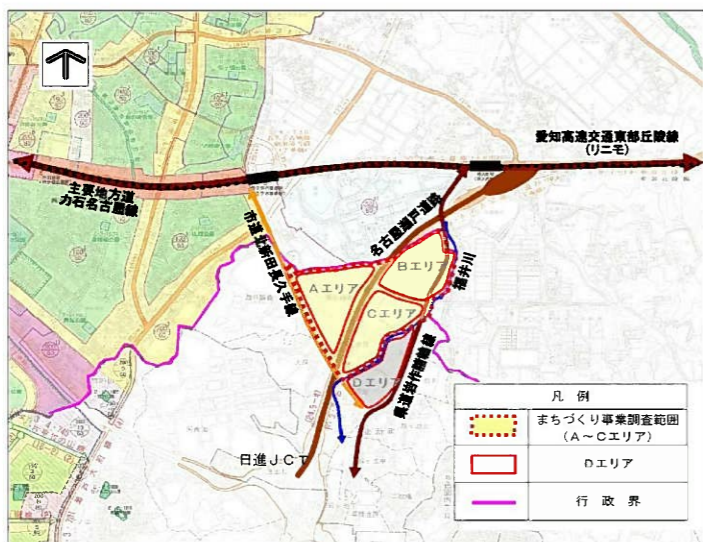
これまでに積み上げてきた基本構想を基に、市としての本地区の整備方針について、認可権者からの確認をとる手続きである「計画協議」を行っていきます。

また、これまでの説明会等では、土地区画整理事業に伴う減歩率の算定に必要な要素が整っておらず、減歩率約50%ということで説明を行ってきました。今年度、「区画整理設計」や整理前後の「土地鑑定評価」を行うことで、より精度を高めた減歩率を算定することが可能となり、新たな判断材料を地権者へ提供していくことで、仮同意率の向上につなげたいと考えています。

加えて、土地区画整理事業について、不安や疑問を抱えている地権者向けに土地区画整理個別相談会を実施（8月開催予定）し、土地区画整理事業について地権者の理解を深めていきます。

平成25年7月1日現在の仮同意率は＜地権者：71.8% 面積：74%＞となっており、引き続き85%を目指して仮同意書の収集を行っていきます。

＜仮同意書収集エリア（A～Cエリア）＞



◆世話人会活動一覧（平成24年4月～平成25年6月末まで）

平成24年	4月	○第23回世話人会 ・第2回地権者説明会の開催報告 ・今年度のスケジュールについて ・基本構想（案）について
	5月	○第24回世話人会 ・施行主体について ・平成24年度のスケジュール、概略事業スケジュールについて ・基本構想（案）たよりについて ・概略計画（案）（区画整理概要図、概算減歩率）について
	6月	○第25回世話人会 ・基本構想（案）、計画テーマ（案）について ・仮同意説明会について
	7月	○第26回世話人会 ・仮同意説明会について ○仮同意説明会 ※土地区画整理事業仮同意書収集の開始
	10月	○第27回世話人会 ・仮同意説明会の開催報告 ・仮同意書の収集状況報告 ・仮同意提出のお願いおよびアンケートについて
	11月	○第28回世話人会 ・仮同意書の収集状況報告 ・仮同意におけるアンケート結果について ・世話人会たよりについて
平成25年	12月	○第29回世話人会 ・仮同意書の収集状況報告 ・仮同意書の収集に向けた体制づくりについて ・世話人会たよりの発送について（12/14発送）
	2月	○第30回世話人会 ・仮同意書の収集状況報告 ・先進地視察について ・計画協議図書について
	5月	○第31回世話人会 ・先進地視察の報告について ・仮同意書の収集状況報告 ・今年度のスケジュールおよび個別相談会の開催について

＜本地区におけるまちづくりのイメージパース＞



◆北のエントランスまちづくり 基本構想図(概要)

「にぎわいとなつかしさがあふれるまち」

■シンボル、玄関口、安全・快適

- ・日進市の北の玄関口としてふさわしいシンボルロードとしての整備を行う。
- ・安心して快適に駅まで行ける空間を確保する。



■自然と暮らすまち

- ・統一感のある緑溢れる新しいまちを創出する。
- ・開放感のある緑豊かなまち並みを誘導する。



■賑わい、活気、地域の活性化、便利

- ・地域活性化を図り、歩いて暮らせるまちを創出する。
- ・若者が集う賑わいや活気溢れる空間を創出する。
- ・周辺の大学生が集い交流できる場を創出する。



■地域の活性化、便利

- ・地域の生活に必要な施設や店舗の誘致を促進する。
- ・歩いて暮らせるまちを創出する。

■交流

- ・誰もが気軽にふらっと立ち寄れるような交流の場や情報発信の場を創出する。



■水辺空間の活用

- ・河川空間を散策路として活用する。
- ・身近に水辺を感じられる空間を創出する。



■自然環境の活用、学習・教育

- ・地形を活かした、芸術・文化の交流の場を創出する。
- ・既存の自然環境を活かした空間を創出する。
- ・自然の中で学べるような活動や空間を創出する。



■活力の創出、雇用の確保

- ・地域の活力創出や雇用の確保を図る。
- ・自然環境に配慮する。



■地域の活性化、便利

- ・日用買回品を扱う商店・コンビニ・ロードサービス店舗などの立地誘導を促進する。



■安全・安心・快適

- ・幹線道路へのアクセスを安全・安心なものとする。
- ・安全・安心に歩ける道路計画とする。



■つながり、交流

- ・維持管理などの地域活動を通じて交流の場を創出する。



■健康

- ・楽しんで健康促進が可能となる空間を創出する。



■自然環境を活かした暮らし

- ・緑豊かな環境を残したゆとりのあるまちなみや暮らしを創出する。
- ・開放感のある緑豊かなまち並みの誘導を図る。



■運動、交流、空間の有効利用(調整池)

- ・多目的活用を図るために、気軽に運動でき、人が集まれる場を創出する。



凡例	
	基本構想策定区域
	土地利用：住居系
	土地利用：低層住居系
	土地利用：沿道系
	土地利用：産業系
	幹線道路
	主要区画道路
	歩行者ネットワーク
	河川
	調整池
	公園・緑地
	墓地



■農と共生する暮らし

- ・身近に農を感じ、農と共生できる暮らしを創出する。

